

平成18年6月22日

各位

東京工科大学
株式会社りそな銀行

「地域社会発展」のための包括的連携に係る協定の締結について

東京工科大学（学長 相磯 秀夫）とりそな銀行（社長 野村 正朗）は、本日、「地域発展」のための包括的な連携に関する協定を締結致しました。

本協定は、東京工科大学とりそな銀行が、産業技術に関する産学連携にとどまらず、広範囲な連携による相互協力を行い、人的・知的資源を積極的に交流させることで、「**地域社会の発展に貢献していくこと**」を目的としております。

東京工科大学のバイオ・ITを始めとする研究シーズの地域社会への還元やりそな銀行のお取引先へのサービス充実を図ることに加え、相互の連携によって制作するメディアコンテンツを地域社会へ発信していきます。

本協定の締結により、東京工科大学とりそな銀行は自治体・産業支援機関等との有機的なネットワークをさらに強化し、地域経済発展・活性化に積極的に取り組んで参ります。

【相互協力にかかる具体的施策】

1. 産学官連携の推進

りそな銀行は、お取引先企業からの産業技術や新規事業開発に関する相談に対し、東京工科大学をご紹介し、産学共同研究によるオンリーワン製品・オンリーワン技術の実用化を積極的にサポートします。

また、こうした取組みを円滑にしていくために、必要に応じて、助成金の活用や技術的なコーディネート等について、（社）TAMA 産業活性化協会等の支援機関や自治体・商工団体との有機的なネットワークを活用していきます。

なお、りそな銀行では、多摩地域内の公募により『産学・産産連携企画推進チーム』を社員20名で立ち上げました。各種講演会・技術交流会等を開催するとともに、お取引先企業のコアコンピタンスを木目細かく把握し、戦略的に情報を蓄積していくことで、取組みを強化していきます。

2. メディアコンテンツの地域社会への発信

東京工科大学とりそな銀行は、小学生向け金融経済教育のeラーニングシステムを共同制作し、りそな銀行多摩地域が開催する『りそなキッズマネーアカデミーIN 多摩』の学習メニューの一部として活用します。今後は、コンテンツの演習内容をさらに充実させ、広く社会に配信することで、地域社会に貢献していきます。

また、東京工科大学メディア学部の卒業研究インストラクショナル・メディア・プロジェクトで制作された「インターネットようちえん」や「アニマルパーク」などの作品展示会をりそな銀行立川支店等で開催し、コミュニティ活動を推進していきます。

3. 店頭プロモーションツールによるメディア研究

東京工科大学は、りそな銀行の店頭プロモーションツール「りそなビジョン」のコンテンツ制作等を行うことで、視聴者への放送効果や製作技術の革新など、メディアに関する高度な研究プロジェクトをメディア学部内横断的に進めてまいります。

上記の各種施策以外にも、今後、本協定の趣旨に鑑み、双方が連携することで有益であると思われる事項については積極的に推進して参ります。

以 上